



アイブラリー通信

こんにちは！乳がん看護認定看護師です
乳がん看護認定看護師：椿原 久美子

乳がんは女性のがん罹患率1位で、年間70000人以上の方が診断されています。当院では年間200人程度の方が手術を受けています。

乳がんと診断されてからは、治療の提示がありますがご自身で決めていくこともあります。

手術方法が選択できる場合や乳房再建については、それぞれの特徴を理解できるように説明し、十分に納得してから決めていただきます。また、手術後の治療については、なぜ治療が必要なのか？をご理解していただき、治療を続けながら日常生活に戻ることや社会復帰について、ライフスタイルを考えた支援ができればと思っております。再発された方は、治療に関することやその後のこと、ご家族の相談にも対応しております。

患者さんは20歳代から90歳代まで幅広い年齢層であり、生活環境や治療内容がみなさん異なるので、お悩みが全くない方はいらっしゃらないと思いますし、他のがんと比べて治療期間も長く10年間に渡って経過を診ていくため、不安を抱えながら生活している方も少なくありません。「こんなこと誰に相談したら・・・」と思われる方、ご相談に応じますので30番外来に声を掛けてください。一緒に考えていきましょう。最後に、乳がんは早期発見で治るがんですので、ぜひ検診を受けてください。10月は乳がん月間です。



漫画や絵本で見る健康情報
こんな本があります。是非ご覧ください。



平成30年度ミニセミナー
開催しました

第1回 平成30年7月25日(水)
院内コーディネーター 石橋ひろこ

「臓器移植について」

臓器移植を受けた患者さんの生存率は上がっています。ただ外国と比べると、日本では臓器提供例が少ないのが実情です。その理由の一つに、本人の意思表示がされていないことがあげられます。日頃から、臓器提供についてご家族と話し合っていたことが大切です。

11月21日もあります。

第2回 平成30年7月31日(火)
栄養部 管理栄養士 原 なおり

「腎臓によい食事ってあるの」

腎臓によい食事とは、いろいろな食材をバランスよくとること。腎臓が悪い時の食事と悪くない時の食事は違います。腎臓の機能が悪くないのに制限をしすぎてしまうと栄養不足になったりするため注意が必要です。塩分は1日量6~7gを目標にし、適度な運動も行いましょう。

第3回 平成30年8月3日(木)
がん疼痛看護認定看護師
鈴木千春

「緩和ケアを知ってください」

緩和ケアは、がんの診断を受けた時から始まるケアであること。お身体の痛みを和らげるだけでなく、精神的な苦しさも少しでも楽になるよう一緒に考えます。お困りのことがあり、看護師のサポートを希望の場合は30外来までおこしください。

第4回 平成30年9月3日(月)
脳卒中センター 泉雅之

「認知症のおはなしその2」

認知症の症状別に、対応の方法をお話ししました。共通して言えるのは、否定せず受け止め、安全を確保しながら、ゆっくり穏やかに対応することです。一人で抱え込まず、地域の包括支援センターや行政の窓口にご相談することも大切です。認知症は誰でも関わる可能性のある病気ですから、正しく理解し対応しましょう。